

耐火造高層建築物の火災実験

— 三菱仲15号館 —

消防科学研究所

目 的

木造建物の火災と異った状況を呈する高層建築物の火災性状を把握して、その防火対策に資するとともに、この種火災に必要な消防器材の使用テストを行い、警防技術の検討の資料とする。

場所および建物

東京都千代田区丸の内2-12

三菱仲15号館

鉄筋コンクリート造4階建地下1階付

建築面積 1,350m² 延面積 6,669m²

日 時

第1日 昭和36年6月20日 A.M. 5.30

第2回 昭和36年6月21日 A.M. 5.30

実験参加団体

建設省建築研究所, 自治省消防研究所, 国立衛生試験所, 都立衛生研究所, 東京都建築材料検査所

実験事項

建物内の温度測定

燃焼生成ガスの分析

煙の濃度, 拡散状況の測定

階段室の圧力測定

ネズミによる一酸化炭素の測定

放射性物質用鉛容器の耐火力試験

各種消防器材, 装備に関する実験

消火作業

警防隊員の健康診断

内装材料の有無による火災伝播速度の測定

火災室の圧力測定

放射熱の測定

私設火災報知機に関する実験

消火器の消火効力の実験

詳 細

単独報告書にて、報告、保管してあるため省略する。